

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 株式会社 多摩川ホールディングス
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

(氏名) 小林 亨
 (氏名) 高橋 功

TEL 0467-79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,101	△5.4	△41	—	△37	—	△43	—
23年3月期第2四半期	1,164	△17.5	△192	—	△183	—	△265	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △48百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △277百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△6.66	—
23年3月期第2四半期	△40.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,514	751	49.6
23年3月期	1,766	799	45.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 751百万円 23年3月期 799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,980	12.9	22	—	18	—	13	—	1.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,774,000 株	23年3月期	6,774,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	202,468 株	23年3月期	202,468 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,571,532 株	23年3月期2Q	6,572,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産や輸出の減少、米国の景気鈍化、欧州の金融不安に加え、新興国需要を牽引してきた中国における金融引き締めなどにより景気停滞の懸念が広がりました。一部では復興に向け回復の兆しも見られますが、経済環境は依然として不透明感を拭いきれない状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループでは、主要な事業である電子・通信用機器事業の安定化、バイオマスエネルギー供給事業の拡大を図り、グループの収益拡大と事業構造改革を推し進めて参りました。また、平成23年6月29日開催の取締役会において、新規事業として太陽光発電事業の開始を決議し、平成23年7月より正式に事業を開始いたしました。

電子・通信用機器事業につきましては、携帯電話設備関連の営業活動を軸に、防衛関連市場や公共無線関連市場に対する営業展開を図ってきました。また、製品の高付加価値化への取り組みや事業領域の拡張・開拓、並びに原価の改善など、収益の改善を軸とした事業活動を進めて参りました。その結果、設備投資の遅延や公共投資削減の影響により依然厳しい状況が続いておりますが、利益率の改善等により赤字幅は大きく改善され始めております。

バイオマスエネルギー供給事業につきましては、事業開始当初はヨーロッパ向けを中心としたPKSの大口出荷を進めて参りましたが、前連結会計年度の後半より日本を含めた東アジア諸国におけるPKS需要が増加しており、収益寄与は未だ限定的ですが、先々の事業拡大が期待できる状況にあります。

その他、平成23年7月1日より開始した太陽光発電事業につきましては、事業開始初期段階であることから受注活動は開始いたしましたが収益寄与には至っておりません。現在は、本事業の拡大に向け、社内の体制整備や営業活動を強化している状況にあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は、1,849百万円（前年同期比50.0%増）、売上高は1,101百万円（同5.4%減）となりました。

損益面については、利益率の改善はされたものの、固定費負担を完全に補うことが出来なかったことから、営業損失41百万円（前年同期は営業損失192百万円）、経常損失37百万円（前年同期は経常損失183百万円）、四半期純損失43百万円（前年同期は四半期純損失265百万円）となりました。

セグメント別の業績概況

① 電子・通信用機器事業

携帯電話基地局の既存方式および次世代方式の設備投資の遅延、また、防衛関連設備および公共無線関連設備の公共投資削減に伴い、受注高は1,278百万円（前年同期比16.8%増）、売上高は1,006百万円（同13.1%減）、セグメント損失25百万円（前年同期はセグメント損失179百万円）となりました。

② バイオマスエネルギー供給事業

東アジア諸国を中心とした案件の引き合いは徐々に増えてきておりますが、中長期的な案件が多く、当第2四半期連結累計期間における収益寄与は限定的となり、受注高は566百万円（前年同期比309.0%増）、売上高は95百万円（前年同期は売上高6百万円）、セグメント損失は32百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

③ 太陽光発電事業

平成23年7月1日より開始した太陽光発電事業につきましては、事業開始初期段階であることから収益寄与には至っておりませんが、当第2四半期連結累計期間における受注高は4百万円となりました。

④ その他事業

当第2四半期連結累計期間の主な内容は、子会社に対する経営指導料等であり、売上高（セグメント間の内部売上高）108百万円（前年同期比24.2%減）、セグメント利益17百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ252百万円減少し、1,514百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ204百万円減少し、762百万円となりました。

これは主に、借入金の返済を中心とした流動負債の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、751百万円となりました。

これは主に、四半期純損失によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純損失、たな卸資産の増加、借入金の返済等の資金減少要因があり、前連結会計年度末に比べ347百万円減少し、135百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果流出した資金は202百万円(前年同期は54百万円の資金流入)となりました。

これは主にたな卸資産の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果資金流入は4百万円(前年同期は32百万円の資金流入)となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は147百万円(前年同期は200百万円の資金流出)となりました。

これは主に借入金の返済による支出などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本日(平成23年11月14日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	493,308	135,510
受取手形及び売掛金	663,135	659,349
商品及び製品	190,179	254,481
仕掛品	55,117	89,887
原材料及び貯蔵品	83,086	86,144
その他	44,859	52,352
流動資産合計	1,529,685	1,277,726
固定資産		
有形固定資産		
建物	428,960	434,881
減価償却累計額	△335,396	△338,946
建物(純額)	93,564	95,934
構築物	2,750	2,750
減価償却累計額	△2,750	△2,750
構築物(純額)	0	0
機械装置及び運搬具	33,043	33,036
減価償却累計額	△32,271	△32,303
機械装置及び運搬具(純額)	772	733
工具、器具及び備品	596,862	597,189
減価償却累計額	△591,764	△593,876
工具、器具及び備品(純額)	5,097	3,313
土地	105,584	106,868
有形固定資産合計	205,019	206,849
無形固定資産		
ソフトウェア	0	0
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	23,146	20,698
その他	21,067	21,521
貸倒引当金	△13,835	△13,958
投資その他の資産合計	30,378	28,262
固定資産合計	235,398	235,112
繰延資産		
開業費	1,383	1,169
繰延資産合計	1,383	1,169
資産合計	1,766,466	1,514,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	429,802	348,278
短期借入金	185,950	55,153
1年内返済予定の長期借入金	16,900	—
未払金	30,921	27,547
前受金	150,009	185,653
未払法人税等	7,482	4,927
賞与引当金	5,886	4,655
その他	57,008	48,952
流動負債合計	883,961	675,168
固定負債		
退職給付引当金	82,880	87,497
繰延税金負債	179	7
固定負債合計	83,059	87,504
負債合計	967,021	762,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,628	1,101,628
資本剰余金	1,096,019	1,096,019
利益剰余金	△1,335,072	△1,378,867
自己株式	△60,120	△60,120
株主資本合計	802,453	758,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,955	△5,251
為替換算調整勘定	△1,052	△2,073
その他の包括利益累計額合計	△3,008	△7,324
純資産合計	799,445	751,334
負債純資産合計	1,766,466	1,514,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,164,507	1,101,298
売上原価	1,035,536	864,854
売上総利益	128,971	236,443
販売費及び一般管理費	321,752	277,672
営業損失(△)	△192,780	△41,229
営業外収益		
受取利息	92	148
受取配当金	293	340
為替差益	2,388	—
その他	12,378	7,858
営業外収益合計	15,153	8,347
営業外費用		
支払利息	5,427	3,355
為替差損	—	1,226
その他	369	444
営業外費用合計	5,797	5,026
経常損失(△)	△183,424	△37,907
特別利益		
固定資産売却益	1,096	—
投資有価証券売却益	5,339	—
特別利益合計	6,436	—
特別損失		
減損損失	76,615	1,851
貸倒引当金繰入額	142	—
関係会社整理損失引当金繰入額	6,835	—
その他	2,401	0
特別損失合計	85,995	1,851
税金等調整前四半期純損失(△)	△262,983	△39,759
法人税、住民税及び事業税	2,185	4,035
法人税等合計	2,185	4,035
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△265,168	△43,794
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△265,168	△43,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△265,168	△43,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,902	△3,295
為替換算調整勘定	△2,051	△1,020
その他の包括利益合計	△11,953	△4,316
四半期包括利益	△277,122	△48,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277,122	△48,111
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△262,983	△39,759
減価償却費	16,923	6,259
減損損失	76,615	1,851
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,339	—
受取利息及び受取配当金	△386	△489
支払利息	5,427	3,355
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,096	—
売上債権の増減額(△は増加)	247,896	3,729
たな卸資産の増減額(△は増加)	△41,614	△102,132
仕入債務の増減額(△は減少)	△99,260	△91,885
その他	126,794	22,082
小計	62,975	△196,988
利息及び配当金の受取額	390	504
利息の支払額	△4,977	△3,355
法人税等の支払額	△4,220	△3,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,167	△202,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,415
投資有価証券の売却による収入	27,179	—
投資有価証券の取得による支出	△947	△1,019
有形固定資産の売却による収入	1,573	—
有形固定資産の取得による支出	△3,852	△4,797
その他	8,542	△353
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,495	4,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△130,727
長期借入金の返済による支出	△33,240	△16,900
社債の償還による支出	△217,181	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,421	△147,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,560	△1,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115,318	△347,382
現金及び現金同等物の期首残高	621,252	482,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	505,933	135,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子・通信用 機器事業	バイオマス エネルギー 供給事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,158,351	6,155	1,164,507	—	1,164,507	—	1,164,507
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	142,500	142,500	△142,500	—
計	1,158,351	6,155	1,164,507	142,500	1,307,007	△142,500	1,164,507
セグメント利益 又は損失(△)	△179,675	△15,702	△195,377	2,597	△192,780	—	△192,780

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社に対する経営指導等を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・通信用 機器事業	バイオマス エネルギー 供給事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,006,152	95,145	1,101,298	—	1,101,298	—	1,101,298
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	108,000	108,000	△108,000	—
計	1,006,152	95,145	1,101,298	108,000	1,209,298	△108,000	1,101,298
セグメント利益 又は損失(△)	△25,408	△32,880	△58,288	17,914	△40,373	△855	△41,229

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社に対する経営指導等を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△855千円は、減価償却費の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子・通信用機器事業」セグメントにおいて、工具、器具及び備品については帳簿価額を回収可能価額まで減少し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,851千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。